

ひかりのこ

年度末便り

認定こども園
聖ミカエル幼稚園
2024年3月8日

「あなたのままで」

先日、朝の預かりに入った時のことです。朝の預かりは、7時から8時半まで、1階の絵本の部屋で行います。お父さん、お母さんのお仕事に合わせて、結構早くから来ているお子さんもいるので、朝は、できるだけゆったりと過ごせるよう、保育の先生たちは工夫しています。そんな中で、年少の女の子が、朝、お家で甘え足りなかったのか、私の膝に乗ってきました。そうこうしていると、次に、年長の男の子も、私の膝に乗ってきました。またまた、お母さんとバイバイをした年中の男の子も私の膝に乗ってきました。

どのお子さんも、2階のクラスでは、よく頑張っているお子さんです。でも、いいのです。朝は、子どもたちもエンジンがかかりません。絵本の部屋で遊んでいるうちに、少しずつ力が湧いてきて、体も心も動いていくのだろう、と思います。

さて、年長のすずらんさん、ご卒園おめでとうございます。運動会、お泊まり会、生活発表会、皆さんの成長した姿に、園長はいつも涙していました。年中のひまわりさん、年少のこすもすさん、できなかったことができるようになって、それが嬉しくて、誇らしそうな顔をしている皆さんを見るのが大好きでした。乳児さん。1年で、どんどんできることが増えて、まるで別人のように成長する皆さんに、いつも感動していました。

でも、何よりも、皆さんが、そのまま皆さんであること、「あなたのまま」でいることで、園長は十分でした。あなたが「あなたのまま」でいることで、神様も先生たちも十分皆さんが大好きです。これからもそうです。きっと、皆さんのお父さんや、お母さんや、おじいちゃんや、おばあちゃんもそうだと思います。

どうぞこれからも、あなたは「あなたのまま」でいてください。そして、卒園しても、ミカエルを離れても、胸を張ってご自分の人生を歩んでいってください。

ご卒園、ご進級、おめでとうございます。

園長 渡部 良子

キリスト教保育

「光の子どもらしく」

「ペイフォワード 可能の王国」という映画をご存知でしょうか。学校の宿題をきっかけに少年が誰かからの親切を別の三人に親切にする「受けた親切を他人へ渡す（pay forward）」という計画を実行します。すると、いつの間にかこの親切はアメリカ中に広がる一つのムーブメントとなって人が人に優しさを伝えるきっかけを作ったというお話です。

愛、勇気、親切、友情...こうした言葉は目に見える形を持っていません。目に見えないこれらの感情は色々な出会いや出来事の刺激を受けて花開きます。悲しむ人、傷ついている人、寂しそうにしている人との心の交流、喜ぶ人、感動している人と共に笑い、胸がドキドキすることが子どもたちの自分の中にある心の声と出会わせてくれるのです。

子どもたちはみんな、ひとりひとり無数の感情を一つの体の中に秘めた光の子です。光がプリズムを通して七色のグラデーションを輝かせるように、これからも色々な出会いを通して自分の中から溢れ出す光を、周りの人たちのために照らす人になってほしいと願っています。神様の変わらない導きと祝福をお祈り致します。

チャプレン 司祭 上平 更

